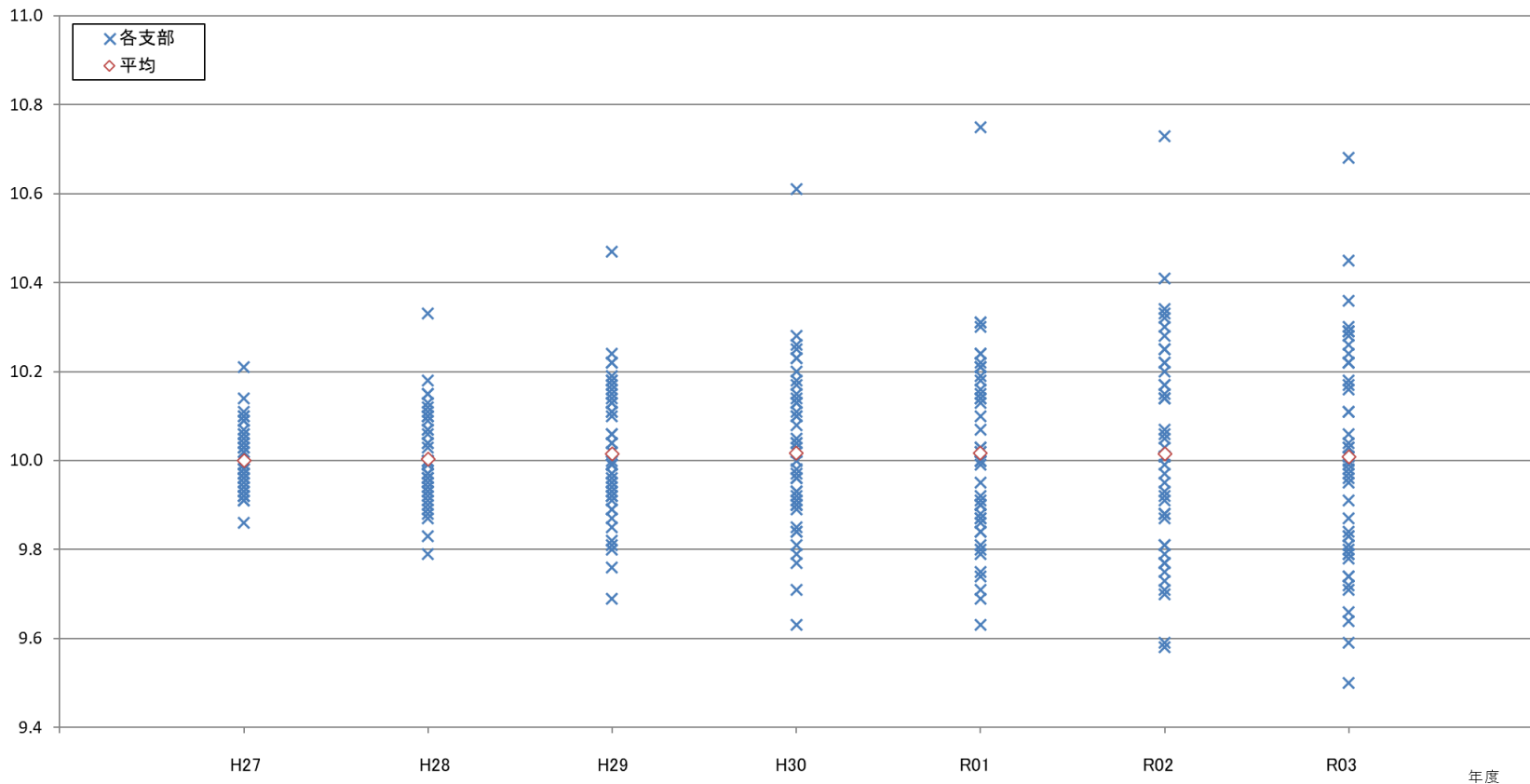


# 都道府県単位保険料率の 分散状況について

## 都道府県単位保険料率の分散状況の推移

○ 令和3年度の保険料率の分散は令和2年度に比べて拡大した。

○ ここ数年の分散状況の推移をみると、激変緩和措置の影響があり、令和3年度にかけて分散が拡大している。



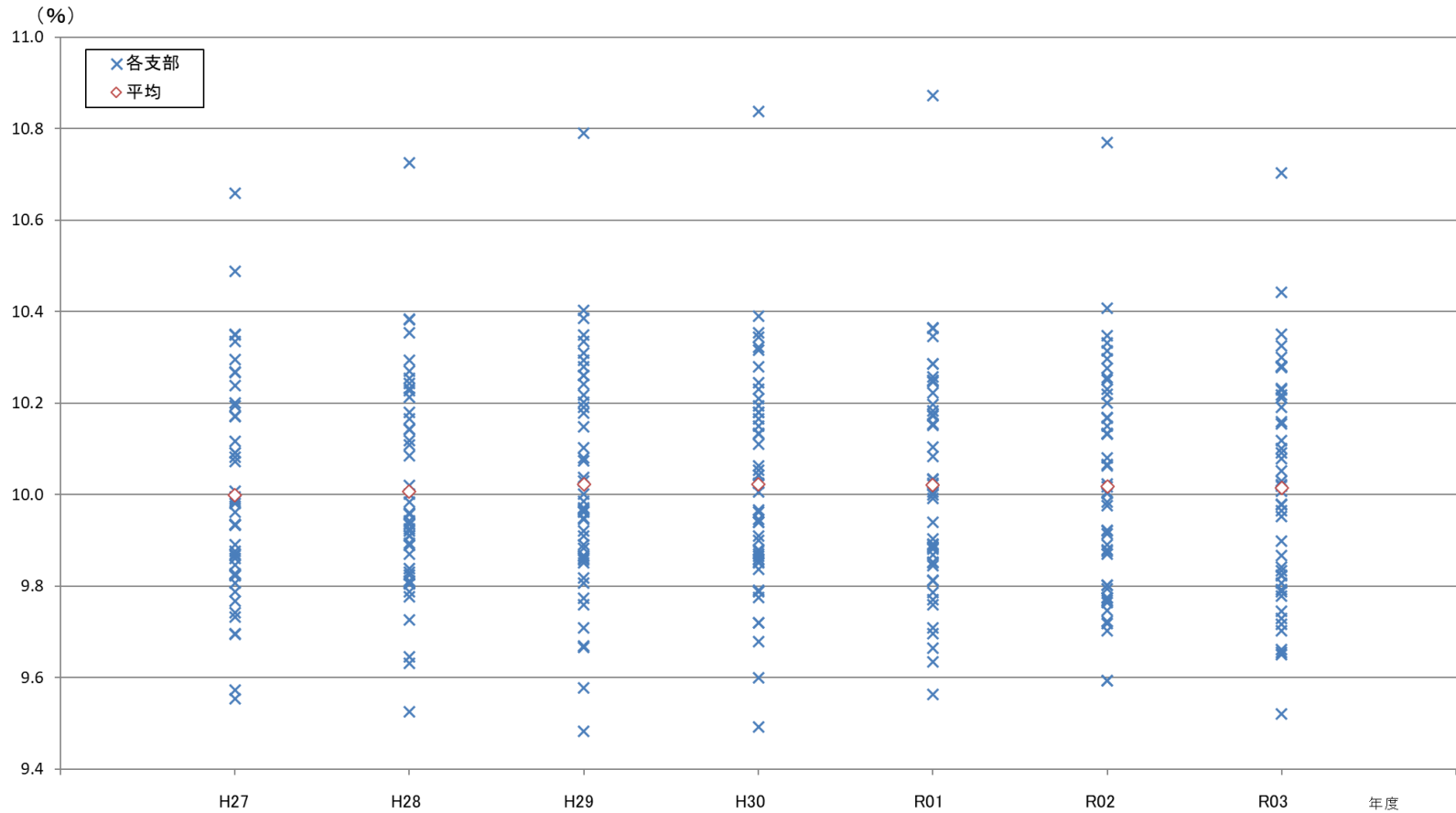
注)「平均」は47支部の単純平均であり、全国平均(総報酬による加重平均)とは異なる。

	H27	H28	H29	H30	R01	R02	R03
平均	10.00	10.00	10.02	10.02	10.02	10.02	10.01
分散	0.005	0.010	0.022	0.030	0.044	0.057	0.061
標準偏差	0.071	0.101	0.147	0.174	0.209	0.238	0.248
激変緩和率	0.30	0.44	0.58	0.72	0.86	1.00	1.00
インセンティブ(%)	-	-	-	-	-	0.004	0.007

※分散とは、平均値からのばらつき具合を測る指標。値が大きくなるほど、ばらつきは大きい。なお、標準偏差は、分散の二乗根。

## (参考)都道府県単位保険料率(激変緩和前、インセンティブ反映前)の分散状況の推移

- ここ数年、分散状況は同程度で推移しており、令和3年度の分散についても、過去と比較して大きな変化は見られなかった。
- 現時点では、インセンティブ制度の導入によって支部間の分散状況にどのような影響が出るかまでは分らなかった。



注1) 激変緩和及びインセンティブ反映前の保険料率。

注2) 「平均」は47支部の単純平均であり、全国平均(総報酬による加重平均)とは異なる。

	H27	H28	H29	H30	R01	R02	R03
平均	10.00	10.01	10.02	10.02	10.02	10.02	10.01
分散	0.055	0.053	0.061	0.058	0.059	0.058	0.061
標準偏差	0.235	0.230	0.248	0.241	0.244	0.240	0.247

※分散とは、平均値からのばらつき具合を測る指標。値が大きくなるほど、ばらつきは大きい。なお、標準偏差は、分散の二乗根。